

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年12月8日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	ハートフル林
所在地	鹿児島県鹿児島市武二丁目32番19号 (電話) 099-257-6977
自己評価作成日	令和7年10月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年11月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同法人の医療機関との連携、訪問診療、訪問看護、他科往診等充実しており、感染予防対策も勉強会、研修等行い徹底している。その中でも面会、外出、外泊、レクリエーション等行い入居者様が孤立する事の無いよう職員一丸となって支援している。ご家族も含め、ここを選んでよかったと言って頂けるよう日々優しさと思いやりの心を持ち頑張っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所の近くに母体医療機関や関連施設があり、24時間医療連携体制が整っている。週1回訪問看護師の健康チェックがあり健康管理を行っている。
- ・町内会に加入し回覧板等が回ってくる。近隣の託児所や保育園児との交流、卒園児の訪問でプレゼント交換。実習生の受け入れ、音楽ボランティア受け入れも行い、地域との交流に努めている。
- ・面会は相談室で行っている。家族と外食や外出・外泊もあり、関係継続の支援がなされている。
- ・食事は、たこ焼き・お好み焼きパーティーをしたり、敬老会・クリスマス・正月等の行事にはお弁当を食べたり、誕生日には家族と外食に出かけたり食事が楽しめるように支援を行っている。
- ・職員は理念に基づいたケアに取り組んでおり、研修会に参加したり勉強会を行ってケアの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に優しさと思いやりの気持ちを持ち傾聴と共感を大切に信頼関係を築けるよう努めています	理念は、事務所・各ユニットのフロアに掲載している。パンフレットや重要事項説明書にも記載している。毎月のミーティング時にケアの振り返りを行い理念の共有を行っている。職員のネームの裏にも理念を記載して日々のケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの保育園や託児所との交流や地域方に楽しんで頂けるようなイベント、秋祭り等開催している		
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	お祭りを開催する際のチラシの裏にパンフレットを載せ地域の方に配布しホームの紹介をしたり 入居相談の際、認知症の理解や支援の方法をお伝えしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2月に1回の会議ではホームの近況報告を行い意見等頂きサービスの向上に活かしている 地域の取り組み、現状等報告いただきホームの活動にも繋げている	2ヶ月に1回会議を開催し、事業所の利用者や職員・行事・研修等の実情報告を行っている。地域の取り組みや感染症の流行のため予防の話等を行い、会議で出された意見をサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に武、田上地域包括支援センターの方に出席して頂き意見を頂いたり、長寿あんしん課に出向いて不明な点等教えていただいたり積極的に行っている	市の担当者に書類申請や介護保険の更新等に窓口に出かけたり電話で相談をしている。運営推進会議にも地域包括支援センター職員に参加してもらい情報交換を行っている。研修案内があり日頃から連携が取れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	3月に1回委員会を開催し、定期的な勉強会も行い身体拘束ゼロに繋げている	マニュアルがあり3ヶ月に1回身体拘束廃止委員会の開催や勉強会を行っている。不適切な言葉遣いがあった場合はその都度注意し職員同士で意識しながらのケアに努めている。外出希望時は職員が付き添って出かけている。玄関の施錠は夜間のみ行っている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会と同時開催し、定期的な勉強会も行い虐待が見過ごされることのないよう日々職員間で意識しケアにあたっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を行い学ぶ機会を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前から入居者やご家族の不安や疑問にお答えし丁寧な説明を行っている 不安な事、疑問点等都度、対応し返答している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様や家族が意見や要望を伝えられる機会を設け、管理者、職員、外部関係者と共有し運営に活かせるように取り組みしている</p>	<p>利用者は日々のケアの中で、家族からは電話や面会時に要望や意見を聞いている。呼出ベルがないので笛をベッド柵にかけてほしいと言われて安心の為に付けている利用者もある。面会は相談室で行っていて、外出・外泊の希望にも応じている。ホーム便りの発行も定期的に行っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に個別の面談やその都度何かあれば報告し、職員の意見や提案を聞きサービス向上や業務改善に活かしている</p>	<p>管理者は職員に年1回個別面談を行っていて、日常的に職員の意見や相談を聞いている。毎月の合同ミーティングやカンファレンスでも話を聞き、ケアに関する意見が多い。介護記録にも情報を記載し共有をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や実績を把握し働きやすい環境づくりに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修(eラーニングを導入)を行い学ぶ機会を設けている、また職員一人一人のケアの状況、力量を把握し研修や実務を通じて成長できる機会を確保している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流を積極的に行い、サービス向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>新しく入居された方に対して、こまめに声掛けを行い、表情や言葉の変化を観察しながら関係を深める様にしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の不安、心配事をお聞きし、密に連絡を取る様にしている。ご家族様の想いを尊重して一緒に一つ一つ解決していくよう努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人がどのような支援を求めているか、皮膚の状態、口腔内の状態を都度確認し、その時必要な支援を見極める様にしている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に洗濯物を畳んだり散歩に行ったりすることで自然な会話が増え、信頼関係が深まっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と定期的に連絡を取りご本人の生活状況や体調の変化を共有している 相談があれば傾聴し、支援に反映できるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望があればご家族へ連絡し、協力を依頼するなど支援に努めている	墓参りに家族・職員と出かけたたり定期的に自宅に帰る利用者もいる。外出・外泊・外食・買い物にも家族と出かけている。2ヶ月に1回訪問美容に来てもらったり、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流がスムーズに行えるよう定期的にイベントを開催している 他者交流の少ない方へは、意図的にこちらから話しかけ孤立されないよう気を配っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も必要に応じて相談対応を行い、関係を途切れさせないように努めた		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員が日頃利用者様と関わる中で得た情報を記録に残し、本人、家族の意向や思いを聞きケアプランなどを作成している	利用者は入室時やトイレ・居室で職員に思いや意向を話されることが多い。困難な場合は、入居前の生活歴や家族からの情報で本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴、サービス利用の経過を把握するよう努めている。また、個人ファイルを確認し把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態変化を観察し、記録に残し、必要時にはカンファレンスを実施している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティングで利用者様の状況報告があり、改善できるプランの意見交換がされている	モニタリングは3ヶ月、見直しは半年で行っている。月1回のミーティングで利用者の状況を聞いている。本人・家族・職員・主治医の意見を聞きながら現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ipadを使用し、GH全体のご利用者の情報共有も行っている 申し送りや記録なども利用者し、都度共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状態、希望に応じて外出レクやリハビリに対応し、必要な際には訪問看護師等と連携して安心した生活の継続を送れるよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民との交流機会はコロナ以降限られているため、地域行事やボランティア党の受け入れを通じて地域とのつながりをより深めていきたい		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療を実施している他科受診の際は、家族の付き添いや適切な医療を受けられるよう支援している	本人・家族の希望で協力医療機関がかかりつけ医になっており、訪問診療を月2回受けている。週1回健康チェックの看護師訪問もある。24時間医療連携体制で情報交換していて適切な医療を受けられるように支援している。他科受診は家族が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>フローチャートを作成し、24時間、訪問看護もしくは病院外来に報告相談できる体制を整えている 週1回の訪問看護を実施している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居中の様子や入院に至った経過、ADL等を主治医や看護師と共有している 退院、その後についてははれんけいしつを通して確認できるようにしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に医師、ご本人、ご家族、職員間で終末期について医師確認を行い書面にて説明、署名頂いている 急変時には関連チームも加わり支援できるよう取り組んでいる</p>	<p>利用開始時に重度化・終末期について、本人・家族に説明し同意書を得ている。状態変化に応じて本人・家族・職員・主治医と話し合いを行い、方針を共有している。急変時には関連チームと連携を取りながら支援に取り組んでいる。職員で研修も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを作成し周知している 職員間でも事故発生時の対応も都度共有している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>BCPの作成、対応マニュアルの作成を行い周知している 避難訓練を定期的実施し、万が一の際にも対応できるよう体制を整えている</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、1回は消防署の協力を得ながら昼夜間想定で行っている。今年は土砂災害も想定して3回訓練を行った。事業継続計画（BCP）も作成している。法人施設や近隣施設との協力体制は出来ているが地域の協力は難しい。備蓄は非常食・水・米・レトルト食品等を準備している。カセットコンロ等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室への入室時、ケア前後の声掛け、介助時のドア、ブラインドの開閉には十分配慮し、誇りやプライバシーを損ねないように努めている	入室時のノックやケア前後の声掛け、介護時のドア・ブラインドの開閉にも配慮している。利用者を名前で呼ぶ等、人格の尊重や誇りを損ねないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活支援時にその都度声掛けを行い、タイミングが合わない時はご本人様の意思を尊重するよう心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせたケアにならないように気を配っている 希望、要望を伺い自己決定できるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に訪問カットを利用して頂いたり、季節に合わせたお好みの洋服を着用して頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいもの、お好きなものを伺い提供できるよう努めている たこ焼き、お好み焼きパーティーを実施し盛り付けなど一緒に楽しんでいただいている	職員で献立を作成している。たこ焼き・お好み焼きパーティーは好評で、自分でかつお節や青のりをかけて楽しんでいる。行事食はお弁当を注文し、誕生日は外食に出かけている。個々に応じた食事形態で食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嚥下状態や習慣に合わせ食事形態を見直したり同法人の栄養士、STの職員に相談しアドバイスを頂いている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方に合った口腔ケアを行い、清潔を保持している必要に応じて個別での歯科訪診をうけて頂いている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄チェックを行い、パターンを知ることによって、できるだけトイレで排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し、動作や表情等、小さな情報も共有して、トイレ誘導し自立した排泄を支援している。居室にトイレがあり、夜間は個人に合わせた排泄スタイルを見つけ、リハビリパンツやパットでのトイレ誘導をして自立排泄に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々、体操の時間を設け、飲食物の工夫をして自然に排便を促せるよう取り組んでいる 主治医の指示のもと個々に合った薬を処方してもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴日は決まっているが、本人の希望があれば柔軟に対応している 入浴時間が少しでも気分転換になるよう支援している</p>	<p>入浴は週2回午前中に行っているが希望があれば柔軟に対応している。同性介助を行っていてシャワー浴や浴槽につかる人もいる。入浴を1回は断るが再度勧めると承諾し、入浴して気持ちよかったと言われる利用者もいる。入浴が楽しめるように支援を行っている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>居室の環境整備に努め寝具等は本人の愛用していたものを使用してもらい、安心して休んでもらえるよう支援している</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>居宅療養管理指導により薬剤師による薬の管理されており、薬の目的、副作用等しっかり説明をうけ服薬の支援、状態観察等行えている</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外食レク、外出レク等個別で実施し天気の良い日は外気浴をかねて近所を散歩したりしているご家族との外出等制限なく行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人様の希望に添えるよう出先の方にご協力頂いたり、ご家族も巻き込んで支援できるようにしている</p>	<p>年間計画を作成し花見や初詣に出かけている。家族と一緒に外食や外出・外泊もしている。買い物に出かけたり季節に応じて近くの公園でおやつを食べたりすることもある。希望に添って戸外に出かける支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物出来る方については、ご家族に許可を頂いて本人様自身が買い物できるよう支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話できる状況である携帯を持っている方もいらっしゃる</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた壁画作りを入居者様と一緒に行ったり、日々の清掃、消毒、換気を都度行い衛生面には特に注意を払っている照明、音、空調にも居心地よく過ごせるよう配慮している</p>	<p>空気清浄機やエアコンを設置し温度湿度、採光や換気、清掃も行っている。利用者で作製した季節の作品や写真が飾られている。テレビを見たり話をしながら居心地よく過ごせる工夫を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様同士の関係性を把握しテーブル席等配慮している お茶を飲みながら新聞を読んだりテレビを観たりおしゃべりを楽しんだり自由な時間を設けている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際はご家族も一緒にベッドや家具の配置等行い、寝具類や生活用品等も本人様の使い慣れたもので安心して居室で過ごせるよう努めている</p>	<p>ベッド・エアコン・ブラインド・温湿度計は事業所が準備しているが寝具類や箆筒・テレビ・ハンガーラックや机・椅子等は使い慣れたもので、家族と相談しながら配置し、居心地よく過ごせる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや風呂場、ほかにもあらゆるところに手すりを設けてあり居室の床はクッション性があり安全に配慮しており介助される側、する側も安心できる構造であり自立支援に努めている</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない